

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート(2次評価シート)

(1)政策	コード	名称
	14	(1)明るい未来の希望を育むまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	31	子どもが将来の夢をはっきり持っている
	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める			

(4)評価実施年度	平成 19 年度
-----------	----------

(5)評価責任者職名	教育部長
------------	------

(6)評価責任者氏名	森永 喜久雄
------------	--------

(7)評価者	
--------	--

(9)継続・新規 (19.20.21.22)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)投入人員(人)	主な成果(新規事業の場合は目標指標の数値)		(17)指標の単位	(18)評価類型	1次評価結果						
					H18 決算額	H19 予算額・ 補正要 求額	H20 要求 見込額		(14)指標名	(15) 17年度			(16) 18年度	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性
														(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		

(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて	(33)その他の改革 改善点について
---------------------------	---------	-----------	-----------------------------	-------------	-----------------------	-----------------	------------------------	-----------------------

19・新 規・当 初	0068	特別支援教育充実事業	450300	学校教育課	-	56,953	61,737	0.5	巡回・教育相 談件数	H19で 150	H20で 200	件					4	4			4	A	
継続	0886	奨学金等支給経費	450100	教育総務課	15,585	19,647	19,421	0.3	基金奨学金 (田中・橋本、 馬岡・南・桂) 支給者採用率	100	100%						4	4	4	4	4	A	現状維持
継続	0897	特色ある学校教育推進事業	450300	学校教育課	20,608	19,476	8,964	0.1	学校の取組に 対して、満足 である評価を 得た学校数	36	38校						4	3	4	3	3	A	変更
継続	0899	人権同和教育推進事業	450300	学校教育課	8,078	7,970	11,723	0.5	公開発表会参 加者数	255	320人						4	4	4	4	4	A	変更
継続	0934	(仮称)上野東地区中学校建設事業	450100	教育総務課	219,423	781,300	1,287,412	1.0	工程表の進捗 度	20	50%						4	4	4	4	4	A	現状維持
継続	0936	(仮称)上野南地区中学校建設事業	450100	教育総務課	51,880	6,480	610,630	0.9	工程表の進捗 度		10%						4	4	3	4	4	A	現状維持
19・新 規・補 正	5008	友生小学校教室増築事業	450100	教育総務課	-	43,600	163,600	0.5	事業の進捗率			%					4	4			4	A	
19・新 規・補 正	5010	崇広中学校教室増築事業	450100	教育総務課	-	7,160	34,160	0.3	工程表の進捗 度			%					4	4			4	A	
継続	0891	不登校児童生徒支援事業	450300	学校教育課	9,521	9,881	10,965	0.3	不登校児童生 徒数	101	98人						4	3	4	4	4	A	現状維持
継続	0892	英語指導助手(ALT)活用事業	450300	学校教育課	31,979	32,562	36,785	0.3	中学校1クラ スの英語授業 に入るALTの 時間数	20	20時間						3	4	3	3	3	A	拡大

無			無		1G	a	子どもたちのニーズに 応じた支援を今後一 層構築していくためコ スト増が必要	
無			無		1G	b	部落差別がある限り事 業は継続する。コスト 向上の余地はないが、 成果向上できる。	
無			無		1G	d	地域の特性や人材を 活用する方向を検討 する	伊賀市学校教育の柱 である「学力」「人権」 「キャリア」に関する分 野については、各事業 に組み替える。
無			無		1G	f	継続が必要	
無			無		1G	b	コスト向上の余地はな い。平成20年度で計画 の100%達成を目指し 事業推進を図る。	
無			無		1G	b	スケジュールが若干遅 れ気味であるが、コス トを維持しても、成果 が向上できる。	
無			無		1G	b	児童(生徒)急増に対 応するために教室の 新設は必要で、効果を 上げるために、コストを 維持しても成果が向上 できる。	
無			無		1G	b	児童(生徒)急増に対 応するために教室の 新設は必要で、効果を 上げるために、コストを 維持しても成果が向上 できる。	
無			無		2G	b	不登校児童生徒の 支援機関として継続が 必要	
無			無		2G	f	今後、小学校英語科 についての構築につ いても検討していくた め継続が必要	

継続	0893	キャリア教育推進事業	450300	学校教育課	4,380	4,080	6,310	0.4	職場体験実施後のアンケート調査における生徒の満足度	70	90%			4	4	3	3	A	変更
継続	0905	教職員研究研修事業	450300	学校教育課	31,428	19,612	13,198	0.2	県や全国規模の研究会での発表・提案校数	5	6校			4	4	3	4	A	変更
継続	0933	中学校クラブ遠征参加経費補助金	450300	学校教育課	6,215	6,620	6,620	0.1	体育大会出場補助額	1,037	1,055円			4	4	4	3	A	現状維持
20・新規	6015	幼稚園建設事業	450100	教育総務課	-	-	77,600	0.5	事業計画に沿った進捗度		%			4	4		4	A	
21・新規	7009	(仮称)上野北部小学校建設事業	450100	教育総務課	-	-	-	0.5	工程表の進捗度		%			4	4		4	A	
継続	0890	教育振興事業	450300	学校教育課	88,305	39,557	33,468	0.2	事案発生件数及び交通事故発生件数	55	49件			4	3	4	3	A	変更
継続	0903	学力向上推進事業	450300	学校教育課	3,911	4,197	7,991	0.2	学力検査における市内小学校の平均点	100	98%			4	3	4	4	A	変更
継続	0907	情報化教育推進事業	450300	学校教育課	12,772	12,293	12,758	0.1	教育用情報機器を活用した授業実施回数	550	570回			4	3	3	3	A	現状維持
20・新規	6016	(仮称)上野東部小学校建設事業	450100	教育総務課	-	-	13,600	0.5	工程表の進捗度		%			4	4		4	A	
20・新規	6017	学校備品システム再構築業務	450100	教育総務課	-	-	10,536	0.005	学校備品システム再構築の作業進捗率		%			3	4		3	A	
20・新規	6018	学籍就学システム導入事業	450300	学校教育課	-	-	13,000	1.0	学籍関連事務事業に投入する人員数		人			4	4		4	A	
継続	0884	私立幼稚園等振興助成費	450100	教育総務課	2,056	1,856	1,856	0.005	幼稚園決算損失への充当園数	2	2園			4	4	3	3	A	現状維持
継続	0894	外国人児童生徒支援事業	450300	学校教育課	2,440	2,640	13,648	0.2	高校進学ガイダンスの参加者数	155	170人			4	4	3	3	A	現状維持

無																		2G	f	継続が必要	H20年度で県事業終了。
無																		2G	f	継続が必要	
無																		2G	b	公共交通機関の利用が困難な学校においては、コストの維持が必要	
無																		2G	b	市有地を利用することで、コストを抑えている。これ以上コスト向上の余地はないが成果の向上が期待できる。	
無																		2G	c	市有地を利用することで、コストを抑えている。これ以上コスト向上の余地はないが成果の向上が期待できる。	
無																		3G	c	地域との連携を強化することで、子どもの安全確保につながる	住民自治協議会との協議を進めていく必要がある。
無																		3G	c	継続が必要	一部県事業
無																		3G	c	継続が必要	
無																		3G	c	中学校校舎の利用によりコストを抑えて事業効果を向上できる。	
無																		3G	c	コストを縮減して、成果を向上させる。	
無																		3G	c	コストをかければ効率上がる	
無																		4G	d	市内幼稚園機能の補完のために必要。補助内容の検討などで、コストを縮減する余地はある。	
無																		4G	c	外国人児童生徒が増加の傾向にあることから、現状維持していくことが必要	県事業

継続	0895	生徒指導推進事業	450300	学校教育課	3,540	2,440	6,410	0.3	対象小中学校生徒の問題行動の発生件数	247	127	件			4	4	4	3	A	拡大
20・新規	6019	開かれた学校推進事業	450300	学校教育課	-	-	3,480	0.4	学校マニフェストの外部評価による各評価項目の満足度			%			4	4		4	A	
22・新規	8005	(仮称)上野西部小学校建設事業	450100	教育総務課	-	-	-	0.5	工程表の進捗度			%			4	4		4	A	
22・新規	8006	(仮称)上野南部小学校建設事業	450100	教育総務課	-	-	-	0.3	工程表の進捗度			%			4	4		4	A	

無																			4G	c	家庭や地域と連携したうえで、子どもたちの健全育成を考慮していく必要がある。	H20年度まで一部県事業
無																			4G	c	城東中学校がコミュニティスクールとして学校運営を行っていくため必要	
無																			4G	c	中学校校舎の利用によりコストを維持しても、成果を向上できる。	
無																			4G	c	中学校校舎の利用によりコストを維持しても、成果を向上できる。	

全 27 事業